

別紙

自四月二十七日
至五月三日
日直巡察將校及日直下士官服務割出表

月日	日直將校	巡察將校	日直下士官
四月二十七日	堀内中尉	田中見習士官	田泰伍長
四月二十八日	岡田少尉	千葉彦三	武山軍曹
四月二十九日	松井少尉	原野准尉	中野伍長
四月三十日	吉田中尉	數本少尉	銘川軍曹
五月一日	岩館少尉	中居少尉	關川軍曹
五月二日	横溝中尉	吉村中尉	渡辺軍曹
五月三日	坪井准尉	土江田准尉	山本軍曹

球軍會報

四月二十三日

陸軍

一 電燈節約ニ關シテハ屢々注意シテ今尚實施不確實ナリ特ニ左ノ如ク
嚴守スルヲ要ス

一 終夜燈ハ各坑道毎ニ管理部ニ於テ定メ之ニ標示ヲセシム

二 各事務室ノ電燈ヲ現場ニ整理ス自今無断各人ニ於テ取付ヲ禁ス

三 敬禮ヲ最モ嚴格ニ實施スヘシ最近壕内ニ在リテ軍司令官及諸上官通行セ
ラルニ當リ全般ニ敬禮ヲ省略シテ傾向在リ特ニ用務ヲ成シ非ラハ者ニ於テ

敬一リトス自今其ノ場ニ於テ姿勢ヲ正シ敬禮ヲ行フヘシ

三 炊事入口左側ニ設備セル入浴時間割出左ノ通り定ム

一三〇〇一三三〇 軍司令官

一三三〇一四〇〇 參謀長

一四〇〇一五〇〇 高級參謀 軍醫部長 高級副官

一五〇〇一七〇〇 木村參謀外參謀 同

一八〇〇以後ハ一般隊事ヲ實施スル付々陸ノ為使用古來ノ符準備セズ

四 管理部、前項時間内に於てハ常時入浴ヲ出来得ル如ク準備スルニトス
 一 般用入浴ニ関シテハ別ニ(完成後)示ス
 五 夕食ノ腐敗防止、為夜間第一回炊事ヲ以テニロコニ分配ス明ニ是日
 以後ニ在リテハ夕食ヲ二十時ニ喫食スルニトス

球日命第九十八號

球軍日々命令

四月二十八日

- 一 明二十九日天長節ノ為リ全員其場ニ於テ九時ヲ期シ一斉ニ宮城ヲ遙拜
- 二 聖壽ノ萬歳ト皇國ノ悠久トヲ確信奉啗スヘシ
- 二 參謀部情報
陸軍二等兵 末門知秀
- 三 參謀部情報
命陸軍一等兵 (四月二十七日附)
- 三 參謀部情報
陸軍二等兵 大嶺盛一
- 四 參謀部情報
命陸軍一等兵 (四月二十八日附)
- 四 參謀部情報
陸軍一等兵 末門知秀
- 五 參謀部情報
四月二十八日 戦傷死ス
陸軍一等兵 大嶺盛一

会報

松原 茂
 西野 吉彦
 岩館 孝
 土佐 恒夫
 宮後 長
 藤原 長
 佐々木 長
 元田 邦子
 明子 子
 中川 隆
 車后 隆

球軍會報

四月二十八日

一 明二十九日天長節ニテ左記ノ通り謹祝赤飯並ニ加給品ヲ給ス

ノ甘味品 戰勝饅頭一人ニ付一個

又酒 一人ニ付一合(女ヲ除ク)

二 副官部

陸軍 屬 岩下善磨

管理部

陸軍上等兵 清川米吉

右ノ者戰傷ニ依リ四月二十六日沖繩陸軍病院ニ入院ス

三

陸軍獸醫大尉 具志清西

四月二十四日着隊ス

球軍日命第九九號

球軍日命令

四月二十九日

松島

○

一 山部隊ノ進歩ニ伴ヒ軍戰鬥司令所内坑道全般ノ改変及一切ノ統制ハ軍管理部長ニ於テ是ヲ實施ス

野原

○

依テ爾今各隊(山部隊及野戰築隊ノ含メ)坑道内ノ切事項(内務ノ細部關係事項ヲ除ク)ニ関シテハ軍管理部長ノ區處ヲ受ケン

野原

○

二 戰鬥司令所内坑道改変並設備委員ヲ左ノ通リ命ス

野原

○

全般ノ計畫

早川大尉

及統制

坂口大尉

三 實行監督

武田大尉

四 電氣送風機

原中尉

前項委員ハ前要ノ下世話ヲ助手トシテ使用スルコトヲ得其一

氏名ヲ明業日九〇〇迄ニ報告ス